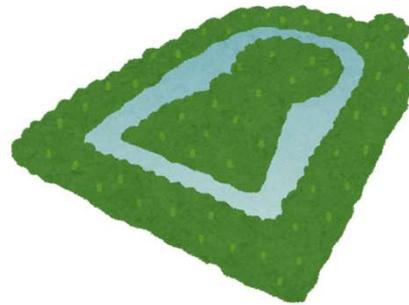
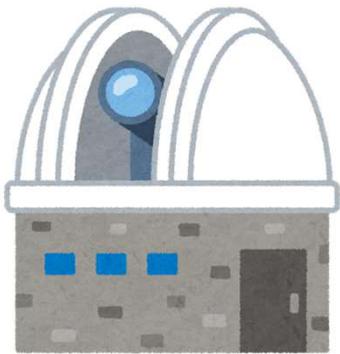


「ラーケーション」

平日、授業の代わりにお子様と保護者等と一緒に体験活動をしたり、話し合ったりする日です。



令和6年4月
東海村教育委員会

ラーケーションとは

これからの社会では、自己の在り方や生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことのできる力が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験的・探究的な活動を通して学んでいくことが有効です。また、自己の在り方や生き方を考えるためには、家族とゆっくりと話をする時間も大切です。思いや悩み、不安について家族と一緒に考えることで、これまでの生活を振り返り、今後を見つめる良い機会になります。

児童生徒が保護者等と一緒に、そのような時間を取ることができるよう、茨城県に準じ、東海村が設定したのが年間最大5日間の「ラーケーション」です。

ラーケーション 申請の流れ

1 計画

①日程 ②場所 ③内容を話し合い、計画をたてる。

2 学校へ申請

「ラーケーションカード」により、原則1週間前までに保護者が申請する。
※急な対応も可能ですが、できる限り早めに申請してください。

3 活動

児童生徒と保護者等とで体験活動等を行う。

4 振り返り

体験活動等の振り返りを行う。
※学校への報告書等の提出は不要です。



ご注意いただきたいこと

- 事前に学校に申請する必要があります。
- 「ラーケーション」の利用によって学校で受けられなかった授業内容は、家庭において自習となります。
- 「ラーケーション」を利用した日の給食の扱いは、病気等の欠席者と同様の対応とし、給食費の返金はありません。
- 各学校の年間行事等を参考に、計画的にラーケーションを取得してください。
【取得を避けていただきたい日】
入学式、卒業式、遠足、修学旅行、宿泊学習、運動会、体育祭、総体、テスト期間など

活動の例

平日ならでは！水族館や博物館に行こう

興味のある施設に行き、時間をかけてじっくりと見学や体験をしてみましょう。

平日は、様々な施設が休日に比べて混雑していません。



気分は研究者！レポートを書いてみよう

興味のあることや疑問をもったことについて調べ、レポートを書いてみましょう。

書いたレポートをコンテストに応募してみるのもよいでしょう。



学校体験！普段の様子を見に行こう

普段の大学や専門学校の様子を見てみましょう。

大学図書館や、周辺の街の雰囲気を味わうのもよいでしょう。



将来について！お家の人に話してみよう

将来についての思いや悩みなどをじっくりとお家の人と話し合ってみましょう。



Q&A

Q1 どうして「ラーケーション」を設定したのですか。

A1 学習指導要領において、「総合的な学習の時間」では、「よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための力を育成する。」となっています。そのような力を身に付けるためには、児童生徒が地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験活動を通して学んでいくことが有効です。従来の学校での活動に加え、より柔軟に体験活動の時間を取ることができるよう、年間最大5日間の「ラーケーション」を設定しました。

Q2 「ラーケーション」を利用した場合、学校は欠席になりますか。

A2 事前に申請をしていれば、欠席にはなりません。

Q3 「ラーケーション」を連続して取得することはできますか。また、残った日数は次の年度に繰り越すことはできますか。

A3 連続して取得することも、分散して取得することも可能です。限度は年度内に5日間であり、残った日を次の年度に繰り越すことはできません。また、1日単位での取得とし、時間や半日単位での取得はできません。

Q4 保護者等が急きょ休みを取れることになった場合、実施の1週間前より後であっても申請することはできますか。

A4 できます。ただし、十分に計画した上で体験活動を行ってほしいので、可能な限り早めに申請するようお願いします。

Q5 「ラーケーション」を利用した日の給食の扱いはどうなりますか。

A5 病気等の欠席者と同様の対応とし、給食費などの返金はありません。

Q6 「ラーケーション」中にケガなどをした場合はどうなりますか。

A6 学校の管理下での活動ではないため、学校で任意加入している日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度の対象外となります。実施前に家庭で個別に保険に加入することをおすすめします。

Q7 土曜日の授業参観の日にも「ラーケーション」は取得できますか。

A7 取得することは可能ですが、大切な授業の代わりとなることを踏まえた活動になるよう、お子様と保護者とよく話し合うようにしてください。